

## 第12回滋賀県首長会議テーマ一覧

提案 団体	整理番号、テーマ名およびテーマの趣旨（概要）
①通学・通園等における子どもの安全対策について	
大 津 市	園児・児童・生徒の通園・通学・散歩における道路等の安全対策について
	<p>令和元年5月8日散歩中に信号待ちをしていた保育園の園児と保育士が、自動車の交通事故の巻き添いで、2人の幼い命が失われ、1人が重体となり、保育士を含む13名が重軽傷を負うという痛ましい事故が発生した。</p> <p>このことから、散歩コースを保育施設及び市・警察等と点検を行うとともに、通学路についても地域の方も含めて子どもの目線での点検を実施し、早急に安全対策の実施を進めているところである。</p> <p>については、二度とこのような事故に子どもたちが巻き込まれることなく、通園・通学・散歩をさせることができる有効な取り組みについて意見交換を行いたい。</p>
米 原 市	通学路の交通安全対策等について
	<p>5月8日に大津市の県道交差点で車2台が衝突し、保育園児の列に車が突っ込むという痛ましい事故が起こり、2名の幼い命が奪われました。また、川崎市では、スクールバスを待っていた生徒が襲撃され、生徒を含む2名の尊い命が奪われるという痛ましい事件が発生し、連日報道がなされました。</p> <p>については、通学路等における交通安全対策および防犯対策の取り組みについて意見交換を行うため、本テーマを提案するものです。</p> <p>(米原市の取り組み)</p> <p>①交差点改良による事故発生の抑制 平成27年(2015年)2月に米原市内の市道で、乗用車が横断歩道を走行中の高校生を跳ね、高校生は約3か月後に亡くなられた。</p> <p>事故があった交差点は住宅街の通学路であり児童生徒の利用も多く、また、見通しの良い道路で、通行する車両もスピードが出やすくなっている。</p> <p>このことから、車両の速度を低減し重大事故の発生を抑制するため、環状交差点(ラウンドアバウト)に改良する計画を立て、国の支援もいただきながら令和元年6月に整備を終えた。環状交差点は、信号がなく、ゆっくりと右回り通行するもので、交差点での減速した通行により、児童生徒の登下校時の交通安全確保と出会い頭の事故などが少なくなるものと期待している。</p> <p>②地域の人々の見守りによる児童の安全確保について 川崎市の殺傷事件を受け、市教育委員会と米原署は、各校の避難訓練に合わせて不審者対応訓練を実施するほか、有志住民が通学路の防犯や交通事故防止に努めるスクールガード(登下校の児童見守り)の増員や登下校の時間帯に地域で見守る「8・3運動」の推進を各校に呼び掛けている。</p>
滋 賀 県	子供の安全と安心を守るための社会の実現について
	<p>去る5月、大津市内において、散歩中の園児等十数名が自動車の衝突事故に巻き込まれ死傷するという交通事故が発生した。</p> <p>また、全国的にも昨年5月、新潟市にて下校中の小学生が殺害されたほか、本年5月には、川崎市で登校中の小学生らが男に襲われ亡くなるなど、子供が普段利用する通学路等で痛ましい事故や事件が発生している。</p> <p>県では、昨年度以降、国の「登下校防犯プラン」に基づく対策を進めるとともに、本年3月には「通学路等における児童生徒等の安全の確保に関する指針」の改正を行ったところである。また、大津市の事故を受けて、本年5月には、国に対して、「園児等の交通安全に確保に関する緊急提案・要望」を行ったところである。</p> <p>県警においても、「登下校防犯プラン」に基づくこれまでの対策を推進した上で、次の4点について、特に強化していくこととされている。</p> <p>①子供の安全確保のための警戒・監視活動の推進 ②関係機関や各種ボランティアとの緊密な連携 ③不審者情報の共有と迅速な情報発信 ④子供に対する総合的な安全教育</p> <p>こうした事故・事件を防止するには、関係機関がお互いに知恵を出し合い、対策を講ずる必要があることから、県・県警や市町における取組について情報共有を行うとともに、課題や必要な取組・制度等について、意見交換を行うこととしたい。</p>

提案 団体	整理番号、テーマ名およびテーマの趣旨（概要）
----------	------------------------

②河川愛護活動について

竜王町	<p>行政と地域が協働で河川の維持管理を図るよう取り組む「ふるさと川づくり協働事業」のうち、河川愛護活動については、地域が行う河川区域内の「除草(草刈り・清掃)」「川ざらえ」「竹木の伐採・管理」について市町への委託を介して費用助成を行っていただいております。</p> <p>また、継続的に取り組めるよう除草単価の増額や、自走式除草機械や大型除草機械工を助成対象にするなど、制度の見直しもしていただいているところです。</p> <p>しかし、地域としては、一級河川のみならず、砂防河川等、上流から下流まで分け隔てなく河川愛護活動を行っており、また河川により堤防の状況が異なり、特に全国最多数の天井川を有する滋賀県においては、堤防が高く、堤防法面は広大であり、作業内容も困難度が大きくなります。</p> <p>そのような状況の中、川を美しく、正しく安全に利用できるように保ち続けたい等の想いのもと、これまで、何とか地域での河川愛護活動を継続しておりますが、地域における人口減少と高齢化により、今後は、これまでと同様の愛護活動の継続は、困難な状況であります。</p> <p>現状においては、河川愛護活動を継続できるよう地域で工夫されていますが、県内においても活動が困難な地域が出てきていることと思います。</p> <p>身近な河川の環境美化等は、行政・地域を問わず誰もが求めるところでありますが、一度、地域による河川愛護活動が途絶えてしまうと、次に活動を再開することは極めて難しいことから、継続できる河川愛護活動の取組を行うため、各市町の取組み状況や、県の考え方をお聞きし、意見交換を行いたいと考えます。</p>
-----	---

③第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会開催に伴う県民のスポーツ意識向上の具体策について

栗東市	<p>国民スポーツ大会等を成功させるためには、県民全体の理解と応援が必要であり、県民のスポーツ熱を高める絶好の機会であると考えます。そのためには、開催県として、県民のスポーツに対する意識向上に主体的に取り組まれる必要があると考えます。</p> <p>そのことに対する、県の県民のスポーツ意識向上の具体策をお伺いします。</p>
-----	---